

平成元年度

働く婦人の家事業概況

労働省婦人局

概 況

平成元年度の我が国の経済は、昨年続き順調な景気の拡大が続き、雇用情勢の改善の中で女子労働者が大幅に増加し、総務庁統計局「労働力調査」によると、元年の女子雇用者は約1,749万人で前年に比べ約79万人（4.7％）の増加となっている。

女性自身がその生涯を通じて職業とかかわりあうという意識が高まっている一方で、最近の人手不足感の広がりや、長期的には生産年齢人口の減少が見込まれること、また高齢化社会の進展の中で女性の意欲と活力を社会にいかそうとする働きも強まっており、女性がその能力と経験を生かしつつ、職業生活と家庭生活との調和を図り、働き易い環境づくりに努めることが大きな政策課題となっている。

このような状況の中、働く婦人の家は女子労働者の福祉を支える地域の核として中心的な役割を期待されている。

働く婦人の家は、男女雇用機会均等法第30条に基づく働く女性のための総合的福祉施設で、主として働く女子等の福祉の増進を図るため、職業生活等に必要な援助を与え、地域における女子労働者の福祉に関する事業を総合的に行っている。また働く婦人の家の設置運営については、「働く婦人の家の設置及び運営についての望ましい基準」に基づいて行われており平成元年度末現在で全国で219カ所設置運営されている。

1 働く婦人の家利用状況

働く婦人の家の利用者の推移をみると、設置数の増加によりここ数年は微増が続いており、元年度では約536万人で前年度（534万人）に比べ約2万人(0.4%)増加している。また、1館当りの利用者は、1日当たり約8.4人で、ここ数年はほぼ横ばい状態で推移している。

利用者の内訳をみると、女子労働者は約183万人（34.1%）となっており、女子労働者についてみると、前年度（178万人（33.3%））に比べ、その比率は0.8ポイント高くなっている。

年齢階層別利用者をみると、40歳未満の利用者は約205万人で4割近くを占めている。

2 働く婦人の家事業実施状況

会合等をみると、実施回数は約64千回、人員は約1,413千人となっている。また、主催、共催別では、回数は主催が約54千回（84.4%）、共催が約1万回（15.6%）、人員は主催が約109万人（76.8%）、共催が約33万人（23.2%）となっており、前年度に比べると共催の比率が回数では5.5ポイント、人員では6.8ポイントとそれぞれ高くなっている。共催の事業の中には、講習会については労働省が家の協力のもとに実施している、職業生活と家庭生活との調和の促進等に資するための女子労働者の生活講座、主に中小企業に働く女子労働者を対象に職業意識・職業能力の向上を図ることを目的とした女子在職者講習、また労働省の委託事業として老人介護の分野に再就職を希望する主婦等を対象とした老人介護講習が含まれる。

集会については、労働省では6月に男女雇用機会均等月間、10月に育児休業制度普及促進月間を設定し、広報啓発活動を集散的に展開しているがその一環として行事を婦人少年室と共催して行う家もある。

相談・指導件数については、職業・労働に関するものが約16千件で4割強を占めている。

託児については、約110万人で前年度に比べ7%増加しており、その内訳は幼児約74千人（67%）、学童約37千人（33%）となっている。

自主グループについてはグループ数約8,700グループ、構成員186千人で、前年度に比べグループ数は20%、構成員は3%増加している。特にグループ数の増加が著しくその内訳は育成グループ数は約5,200グループ（60.3%）、その他のグループ数は約3,400グループ（39.7%）となっている。また1館当たりのグループ数は前年度に比べ6グループ（17.1%）増加している。

3 働く婦人の家実施事業例

最近の傾向として、技能、資格習得講座の増加が目立っている。特にワープロ、パソコン、簿記、語学等のような再就職準備またキャリアアップにつながるプログラムが増加している。

再就職セミナー等再就職を希望する主婦等を対象にしたプログラムも増えている。労働省が開発した再就職を希望する女性が経験、働くための諸条件を明確に自己認識し、企業に自己の強みをアピールする「自己診断ガイド」を活用している家もある。

また、老人介護の講座を実施する家の増加も著しくなっている。

女子労働者の健康管理に関する事業としては、身体健康だけでなく心の健康をテーマとしたプログラムの増加がみられた。

その他、目新しいものとしては職場における性的嫌がらせ（セクシュアル・ハラスメント）問題をテーマにしたプログラムが見受けられた。

1 働く婦人の家利用状況

(1) 働く婦人の家利用者の推移

年度	計	女子労働者	勤労者家庭 主 婦 等	そ の 他	1 月 当 り 利用人員	1 日 当 り 利用人員	対 象 施 設
	人	人	人	人	人	人	館
53	2,230,416	776,463	1,165,661	288,292	185,868 (2,239)	7,435 (90)	83
54	2,681,009	887,399	1,448,930	344,680	223,417 (2,256)	8,936 (90)	99
55	3,036,091	1,011,812	1,583,344	440,935	253,008 (2,259)	10,120 (90)	112
56	3,404,387	1,137,469	1,718,096	548,822	283,699 (2,234)	11,348 (89)	127
57	3,807,760	1,330,830	1,899,990	576,940	317,313 (2,204)	12,693 (88)	144
58	4,153,315	1,425,070	2,073,221	655,024	346,110 (2,163)	13,844 (84)	160
59	4,425,468	1,487,572	2,180,012	757,884	368,789 (2,169)	14,751 (87)	170
60	4,859,899	1,596,392	2,391,144	872,363	404,992 (2,225)	16,200 (89)	182
61	5,206,471	1,719,667	2,602,622	884,182	433,872 (2,202)	17,355 (88)	197
62	5,210,932	1,731,485	2,591,656	887,791	434,244 (2,129)	17,370 (85)	204
63	5,335,201	1,776,622	2,662,265	896,314	444,600 (2,138)	17,748 (85)	208
平成 元年	5,359,012	1,827,023	2,673,747	858,242	446,584 (2,097)	17,863 (84)	213

注1. () 内は1館当りの利用人数

2. 平成元年4月1日から平成2年3月31日までの利用状況である(以下同様)。

(2) 職業の有無別利用者数

区 分	計	女子労働者	勤労者家庭 主 婦 等	そ の 他
	人	人	人	人
総 数	5,359,012 (100.0%) 100.0%	1,827,023 (34.1%) 100.0%	2,673,747 (49.9%) 100.0%	858,242 (16.0%) 100.0%
個 別 利 用	1,797,972 (100.0%) 33.6%	601,822 (33.5%) 32.9%	906,335 (50.4%) 33.9%	289,815 (16.1%) 33.8%
グループ活動等 による団体利用	2,370,131 (100.0%) 44.2%	790,274 (33.3%) 43.3%	1,291,514 (54.5%) 48.3%	288,343 (12.2%) 33.6%
そ の 他	1,190,909 (100.0%) 22.2%	434,927 (36.5%) 23.8%	475,898 (40.0%) 17.8%	280,084 (23.5%) 32.6%

(注) 213施設の集計結果である(以下同様)。

(3) 年齢階層別利用者数

区分	計	30歳未満	30～39歳	40～49歳	50歳以上	不 明
	人	人	人	人	人	人
総数	5,359,012 (100.0%)	787,775 (14.7%)	1,264,727 (23.6%)	1,382,625 (25.8%)	1,414,779 (26.4%)	509,106 (9.5%)

(注) 不明は、未回答分である。

2 働く婦人の家事業実施状況

(1) 事業実施数

イ、会 合 等

区 分	回 数		人 員	
	主 催	共 催	主 催	共 催
総 数	63,732回 100.0%		1,412,720人 100.0%	
小 計	53,773 84.4% (100.0%)	9,959 15.6% (100.0%)	1,085,218 76.8% (100.0%)	327,502 23.2% (100.0%)
講 習 会	43,649 (81.2%)	5,934 (59.6%)	672,855 (62.0%)	129,935 (39.7%)
集 会	1,025 (1.9%)	477 (4.9%)	43,464 (4.0%)	26,708 (8.2%)
レクリエーション	460 (0.9%)	499 (5.0%)	12,680 (1.2%)	12,893 (3.9%)
軽 運 動	5,868 (10.9%)	423 (4.2%)	112,899 (10.4%)	10,823 (3.3%)
展 示	238 (0.4%)	64 (0.6%)	73,416 (6.8%)	32,631 (10.0%)
行 事	194 (0.3%)	105 (1.0%)	127,512 (11.7%)	71,839 (21.9%)
そ の 他	2,339 (4.4%)	2,457 (24.7%)	42,392 (3.9%)	42,673 (13.0%)

ロ. 相談・指導

ハ. 託 児

区 分		件 数
合 計		36,311件 (100.0%)
職 業 ・ 労 働	就 業	12,094 (33.3%)
	労 働 条 件	659 (1.8%)
	そ の 他	3,016 (8.3%)
育 児 ・ 教 育		3,225 (8.9%)
健 康		6,773 (18.7%)
家 庭 問 題		3,545 (9.7%)
グ ル ー プ 活 動 レ ク リ エ ー シ ョ ン		1,767 (4.9%)
そ の 他		5,232 (14.4%)

区 分	人 数
合 計	110,955人 (100.0%)
幼 児	74,347 (67.0%)
学 童	36,608 (33.0%)

自主グループの状況

総 数		8,668 グループ (100.0%)	186,115 人 (100.0%)
内 訳	育成グループ	5,231 グループ (60.3%)	98,313 人 (52.8%)
	その他	3,437 グループ (39.7%)	87,802 人 (47.2%)
1館当たり数		4.1 グループ	87.4 人

- 注) 1. 育成グループとは、講習、講座の修了者グループ、その他施設の指導によって組織された利用者のグループであって、継続的に施設を利用しているものをいう。
2. その他とは、1以外のグループで、継続的に施設を利用しているもの等をいう。

4 働く婦人の家実施事業例

(1) 労働諸問題に関する事業

イ 講習会

(i) 技能、資格習得講座

ワープロ、パソコン、ソフトプログラミング、経理事務、簿記、医療事務、語学、建築製図、ペン字、レタリング、トレース、和裁、洋裁、内職、技能指導（刺繍、動力ミシン等）、社会保険労務士、販売士、行政書士、秘書、調理師、インテリアコーディネーター、コピーライター、ジャーナリスト、カウンセリング

(ii) その他の講座

ビジネスマナー、中堅女子社員研修、新規学卒研修、労働基準法の改正、男女雇用機会均等法等労働法、キャリアアップ、再就職ガイド、再就職支援、老人介護講座

ロ 集会

女子労働問題懇談会、働く女性セミナー、男女雇用機会均等月間講座、再就職セミナー、再就職体験者懇談会、パートタイム労働旬間女性の集い

(テーマ例)

働く女性に求められるもの、職場の男女平等について、
時間の管理学、職場の人間関係、
再就職をしたいひとに、生き甲斐ある人生、
女子労働者の条件整備を学ぶ、セクシュアル・ハラスメント

(2) 職業生活と家庭生活との調和に関する事業

・講習会

育児休業制度普及促進月間講座、老人介護講座、

母親と育児教室

(テーマ例)

働く母親と子育て、男性の子育て、

男女共存社会をめざして、家事について、

共働き夫婦の家庭づくり、高齢化社会への対応

(3) 女子労働者の健康管理に関する事業

・講習会

婦人の健康講座、ライフセミナー

(テーマ例)

女子労働者の健康管理、職場のメンタルヘルス、働く女性の

心の健康、ストレス解消法、職場や家庭でできる簡単な健康法、

食生活の改善、指圧、マッサージの仕方、成人病予防、老後の設計

(4) 女子労働者の生活全般に関する事業

・講習会

家庭電気教室、ネットワーク講座、基礎家庭看護教室

(テーマ例)

消費問題、環境問題（洗剤の安全性等）、悪質商法、リサイクル、食住生活の改善（食品添加物の問題、住いの工夫）、資産運用、税金問題、家庭の法律、家庭看護、同和問題

(5) 休養及びレクリエーションに関する事業

・講習会

イ スポーツ講習・実習等

卓球、テニス、バドミントン、バレーボール、ゴルフ、ボウリング、水泳、ジョギング、ゲートボール、アスレチック、ヨガ、エアロビクス、ジャズダンス、ソシアルダンス、フォークダンス、体操、太極拳

ロ 行事、親睦、野外活動等

働く婦人の家祭、利用者のつどい、女子労働者のつどい、母と子のつどい、他館との交流会、サークル交流会、サークル活動発表会、チャリティーバザール、不要品交換会、新年会、かるた大会、ひな祭り、お花見、七夕祭り、盆踊り、お月見、文化祭、クリスマス会、忘年会、地域行事への参加、施設見学、映画鑑賞会、茶会、ハイキング、キャンプ、バスツアー、旅行、登山

ハ 趣味、教養等

茶道、フラワーアレンジメント、着物着付け、和裁、洋裁、編物、刺繍、手芸、袋物、刺子、組紐、ネクタイ作り、パッチワーク、手織、料理、菓子作り、テーブルマナー、アクセサリー、コサージュ、パンフラワー、リボンフラワー、フラワーコーディネイト、ポプリ、藤あみ、折紙、ハーブ、ラッピング、書道、英会話等各種会話、文学、短歌、古典、俳句、川柳、百人一首、作文、話し方、習字（ペン、毛筆）、郷土史、女性史、礼法、冠婚葬祭百科、絵画、陶芸、七宝焼き、木彫り、版画、粘土、染色、ちぎり絵、押し絵、切り絵、水墨画、手書き友禅、アートフラワー、ステンドグラス、レザークラフト、電子オルガン、三味線、琴、大正琴、コーラス、歌謡民謡、謡曲、カラオケ、舞踊、民謡、郷土芸能、写真・ビデオ撮影、囲碁、将棋、人形劇、マジック、詩吟、園芸、人形作り、木目込み人形、手作りおもちゃ、手作り年賀状、和紙細工、広報誌作り、リフォーム

(6) その他女子労働者の福祉を増進するために必要な事業等

イ 女性の意識啓発に関する事業

・集 会

婦人行政セミナー、婦人週間記念講演会、女性の集い、婦人問題学習会
女性学講座、婦人活動研修会、女性問題懇談会、市長を囲んで市政を考え
る会、女性の地位向上史セミナー

(テーマ例)

女性の地位向上、社会参加の促進、地域との関わりあい方、
女性と政治、女性の人権について

ロ 福祉に関する事業

・講 座

福祉ヘルパー・ホームヘルパー養成、老人介護、病人看護、手話、身障
者に対するマナー、ボランティア、カウンセリング、
社会福祉学、給食の作り方

(7) 相談業務

職業、労働、育児、教育、健康、家庭問題、グループ活動、レクリエーショ
ン、婦人問題全般等について随時相談を行っている。

(8) その他

合同1日研修旅行、移動講座（企業内勤労婦人スクール）、
企業出張講座、企業訪問、健康診断、図書貸出等

GAa1/1

婦人少年局



女性と仕事の未来館



00725269